

## 特別の教育課程「海洋教育科」の編成の方針

阪南市立西鳥取小学校

### 1. 「海洋教育科」の概要

これまでは学年単位で行っていた海に関わる活動を、全学年を通じて系統だてた取組みとするため、「海洋教育科」を新設した。「海洋教育科」では、海とふれあい、海を学ぶことで地域の環境に関心を持つとともに、地域の人と共に活動を行い、地域の一員としての自覚を育むことが目的となっている。

低学年では海に親しみ、海で楽しむことをきっかけに、中学年では地域の海について知り、地域の人々とともにその豊かな環境を守る活動を行う。高学年では地域の海と海に関わる仕事や人々の生き方を学ぶ、というように、海に関わるそれぞれの取組を教育活動の中心に据え、海洋教育を通して探究的な学習活動を行っている。

### 2. 全体目標

海の豊かな自然に親しむ活動や、身近な地域社会の中で海とのつながりを感じられるような体験活動、海について調べる活動、その保全活動などの実際の経験を通して、海に対する豊かな感受性を培い、海に対する関心を高めるとともに、海洋環境、水産資源、船舶運輸など、海洋と人間の関係および、海を介した世界の人々との結びつきについて理解させ、持続可能な社会の形成者としての資質、能力、態度を養う。

### 3. ねらい

人類は、海洋から多大なる恩恵を受け一方で、海洋環境に少なからぬ影響を与えており、海洋と人類の共生は現代における最重要課題の一つである。海洋教育は、海洋と人間の関係について我が国の人々の理解を深めるとともに、海洋環境の保全を図りつつ、国際的な理解に立った平和的かつ持続可能な海洋の開発と利用を可能にする知識、技能、思考力、判断力、表現力を有する人材の育成を目指すものである。この目的を達成するために、海洋教育は海に親しみ、海を知り、海を利用する学習を推進する。

### 3. 各学年の目標および内容

「海洋教育科」では、海とふれあい、海を学ぶことで地域の環境に関心を持つとともに、地域の人と共に地域で活動を行い、地域の一員としての自覚を育むことを目的とし、各学年以下の目標で取り組む。

1・2年生…「海に親しむ」ことを目標とし、近くに自然豊かな海があることを知り、海で楽しむきっかけとすること。

(ビーチミング、石ころアート、リボンモンスター探し等)

3年生…「海を知る」ことを目標とし、海の楽しみ方や、海を育むことの大切さを学ぶこと。

(海藻おしぼ、アマモ苗床づくり・播種、海苔漉き体験等)

4年生…「海を守る」ことを目標とし、理科や社会科と連携しながら、生きものすみかの重要性や環境保全について学ぶとともに、海苔漉き体験を通じて漁業について考えるきっかけとすること。

(アマモ苗の移植・花枝採取・種子選別、海の魚の飼育、生き物調査等)

5年生…「海を利用する」ことを目標とし、社会科の漁業の学習とリンクさせ、海と漁業の関わりを知り、海の利用について学ぶこと。

(漁港見学、稚魚放流、ワカメ種糸付け・収穫、田植え、稲刈り等)

6年生…6年間の学習の集大成として、「海を伝える」ことを目標とし、海の活動から、地域や社会について学びを深めること。

(漁師さんからの聞き書き、漁業も含めた地域の歴史や文化の学習等)

系統的にこれらの活動に取り組むことにより、「自分から進んで課題に向きあう」、「仲間と協力しながら取り組む」、「自信をもって自分の考えを発信する」といった力の育成を目指している。

また、海洋教育での活動や学習を通して、児童が自らの生き方を見つめるとともに社会の担い手として成長する礎を築くこと、地域の海や人々と関わる活動をきっかけに地域への愛着を深めることができることを目指している。